

若者は農村に何を求めているか

- 農村地帯の自然、豊かさ、作物や動物とのふれあいを通して「心の教育、食や命の尊さ、生きる力」を学ぶ
- 田舎暮らし体験を通して地域産業や文化を学ぶ

何故いま、教育旅行受け入れか

それは、地域活性化や多くの農村、漁村のファンを作るための手法でもある

交流人口を増やす

私達は若者に何を求めるか

- 農業の理解者、応援者、酪農の価値などを直接伝える機会
農業関連産業、新規就農への理解
- 新しい出会い、酪農体験のもつ教育力での人間形成

浜頓別町でのこれまでの受入れ

(聖隷クリストファー高校)

2017年	15名	8戸
2018年	16名	4戸
2019年	25名	7戸

受入体制 (それぞれの役割)

○「浜頓別町ゆめ酪農育てる会」と「浜頓別町農業担い手育成センター」が母体となって事務局が受入農家の確保や受入体制を整える。

○受入れ中は各農家や地域のやり方で進める。

私の受け入れを紹介します



やって来た教育旅行生

対面式では町やJAも歓迎
(マスコミにも取材依頼)

町長の歓迎挨拶



JA参事のあいさつ



そして・・・各農家

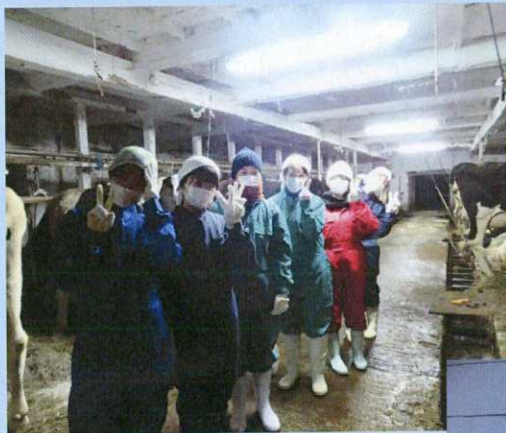


いつの場合でも
「気さくな気持ちで」を
大切に～
面白い、おじさんお婆さんで
あることに気づいてもらう

この人妻

2017年と2018年は
各4名を受け入れ

早速作業服へ
着替えて



2019年は6名の女子を
受け入れた

この人ちがいます



毎年、誰が来ても1日目の夕食はジンギスカン
2日目はカレーと決めている。 一緒に準備

食事の心配



この人は女房

最初の日
の夕食
ジンギスカン

朝食



調理も手伝わせて

2日目の夕食はカレーライス

と

野菜サラダだけ



ラーメン美味しい

夕食後の団らん

昼食を食堂で食べた事も
ラーメン(町案内含めて)





慣れてくると
自由自在

お風呂は
ひとり15分のルー
ル

6人受入れ
2名ずつ3部屋

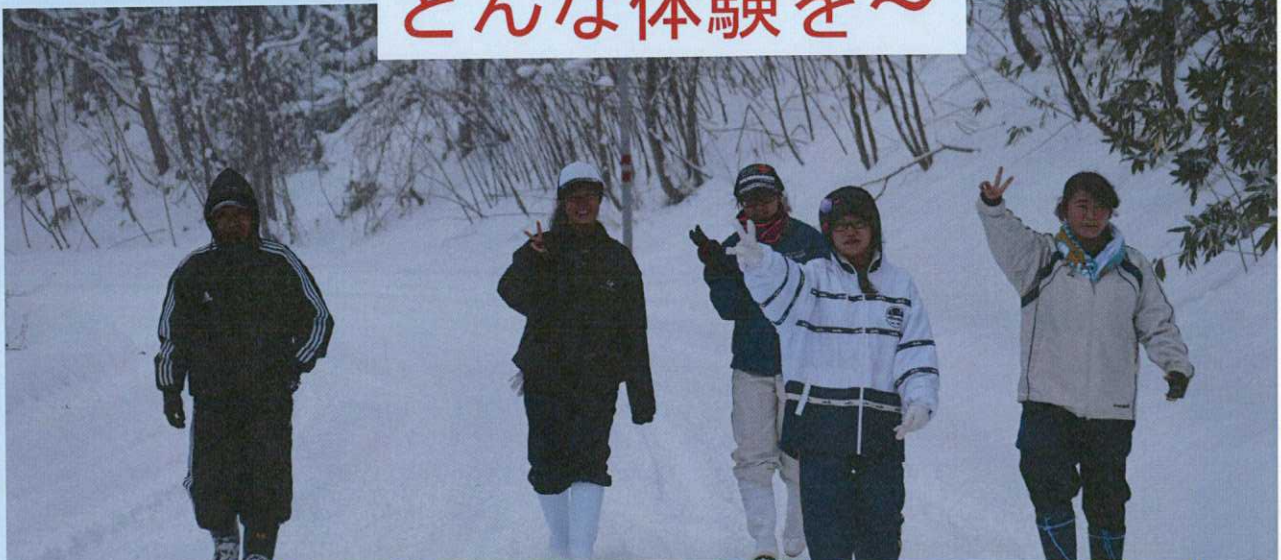
2007年、2階空き部屋
保健所許認可取得





これも、足

どんな体験を～



私が歩いた4キロの雪道の徒歩体験
旧豊寒別小学校まで

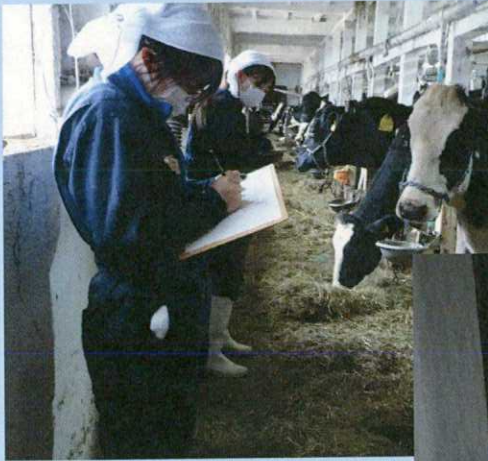
雪とのたわむれ



これだけでも素晴らしい体験



牛舎への行きも帰りも
とにかく雪の中



牛の似顔絵書き

受入れ農家としてのプログラム



人工授精の見学

命の芽生えの瞬間を見学

凍結精液を
手にとって体験

